



平成25年11月7日

各 位

上場会社名 富士機械製造株式会社
 代表者 代表取締役社長 曾我 信之
 (コード番号 6134)
 問合せ先責任者 執行役員経理部部长 巽 光司
 (TEL 0566-81-2111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	73,000	6,200	6,500	4,300	43.99
今回修正予想(B)	63,000	3,600	3,900	2,800	28.64
増減額(B-A)	△10,000	△2,600	△2,600	△1,500	
増減率(%)	△13.7	△41.9	△40.0	△34.9	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	64,349	3,913	4,406	2,698	27.60

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	67,000	6,000	4,000	40.92
今回修正予想(B)	59,000	3,900	2,800	28.64
増減額(B-A)	△8,000	△2,100	△1,200	
増減率(%)	△11.9	△35.0	△30.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	59,776	4,031	2,607	26.67

(注)平成25年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、連結及び個別の業績予想数値における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度及び前事業年度の期首に行なわれたと仮定して算定しております。

修正の理由

電子部品組立機事業では、緩やかに回復する国内外の景気を背景に設備投資の一層の拡大を見込んでおりましたが、スマートフォンやタブレットを中心とするモバイル機器が電子機器関連市場を牽引したものの、新たな設備需要を大きく喚起するまでには至りませんでした。大手セットメーカー、大手EMS(電子機器受託生産企業)等の稼働率は高水準を維持しているものの、競争の激化による利益率の低下もあり、当面は新規設備投資に対して慎重な姿勢が続くものと思われま

す。
 工作機械事業では、中国市場の設備需要に一服感が見られ、北米市場におきましては引合いは増加傾向にあるものの成約に至らず、第2四半期以降回復の兆しが見えてきましたが、その動きは緩やかなものと見込まれます。

以上から、平成25年5月9日に公表いたしました通期の連結及び個別の業績予想数値を上記の通り修正いたします。
 (注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上